

実績確認概要書

平成 24 年 7 月 6 日

ビューローベリタスジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	製材所におけるチップ等を有効利用した清滝温泉事業
承認番号	JCDM-PJ0014
排出削減事業者名	キタヤマコーポレーション株式会社
排出削減共同実施事業者名	九州電力株式会社 三菱商事株式会社 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	源泉野天風呂那珂川清滝 (住所：福岡県筑紫郡那珂川町大字南面里字川床 326)
事業の概要	温泉加温用ボイラーを、重油焚きボイラーから木質バイオマス焚きボイラーに転換することにより、重油使用量・CO ₂ 排出量を削減するとともに、製材所から発生するチップ等の有効活用を推進する。
排出削減量の計画	2009 年度 614tCO ₂ 2010～2012 年度 740tCO ₂ (事業実施期間合計 2834 tCO ₂)
国内クレジット認証期間	開始予定日 2009 年 6 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 「ボイラーの更新」

2. 本実績確認の対象期間

2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日 (第 3 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	927tCO2 (2011年4月1日～2012年3月31日)
-------	-----------------------------------

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減計画に従って実施した結果生じていること	<p>1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） (第3回実績確認のため N/A)</p> <p>2) 対象期間中の設備稼働確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現地訪問の際に、承認排出削減事業計画通りに、重油焚ボイラーから木質バイオマス焚ボイラーへの更新事業が実施されていることを確認した。 ● 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、現地訪問時の設備の確認、本実績報告期間におけるボイラー稼働記録、木質チップの購入実績の閲覧等により確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	<p>1) モニタリング方法の確認 モニタリング方法については、承認排出削減方法論及び承認事業計画に従い、木質チップ使用量はチップ供給者からの請求書、木質チップの単位発熱量は、分析機関の分析結果、木質バイオマス焚きボイラーの効率は計測に基づき、ボイラー稼働時間は営業日報に記録するボイラー稼働時間に基づいてモニタリングが実施されていることを、それぞれ根拠資料の確認や関係者への質問により確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性 活動量は採用していない。 木質チップ・A 重油使用量の正確性については、業者からの購入伝票により確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式および使用されている単位発熱量、排出係数等が排出削減方法論（別表）及び承認排出削減事業計画通りであることを確認している。</p>

	<p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程の確認、再計算等を実施した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認している。</p> <p>5) その他 排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
算定期間が 2013 年 3 月 31 日を超えないこと	本実績確認の対象期間は、2011 年 4 月 1 日～2012 年 3 月 31 日までであり、2013 年 3 月 31 日は超えていない。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価（該当する場合）

木質バイオマスボイラの補機電力について、方法論の規定に従い、事業実施後排出量からリーケージ排出量に変更されている。

6. 特記事項

本実績確認期間における再生可能エネルギー利用量については熱量換算で 14,018GJ であることを確認した。

以上